

各関係機関長 様

熊本県病害虫防除所長

平成18年度発生予察注意報第1号について（送付）
このことについて、平成18年度病害虫発生予察注意報第1号を発表しましたので、送付します。

注意報

平成18年度発生予察注意報第1号

平成18年4月14日
熊本県病害虫防除所長

農作物名 麦類
病害虫名 赤かび病

1 予報内容

- (1) 発生地域 県下全域
- (2) 発生時期 4月下旬以降
- (3) 発生程度 多

2 注意報発令の根拠

- (1) 4月以降、本病の発生に好適な気象条件が、過去に多発生した2003年（平成15年）や1998年（平成10年）並に出現している（表1）。
- (2) 4月7日福岡管区気象台発表の九州北部地方1ヶ月予報では、向こう1ヶ月の気温は平年並か高く、降水量は平年並か多い予想であり、本病の発生に好適な条件が今後も続くと予想される。
- (3) 農産園芸研究所（合志市）作況田における4月13日現在の調査では、本年のミサトゴールデンの出穂日は4月8日（過去3年平均：4月2日）、シロガネコムギの出穂日は4月12日（過去17年平均：4月9日）であるが、今後天候不順が続くと防除適期を失する恐れがある。

3 防除上注意すべき事項

- (1) 可能な限り赤かび病の感染を抑制するため、原則として2回防除を行う。なお、降雨が続く防除適期を失した場合も、天候の合間を見計らって薬剤散布する。

麦種	1回目	2回目
コムギ	開花最盛期	1回目散布の7日後
オオムギ	穂揃期	1回目散布の7日後

- (2) 薬剤散布にあたっては、使用基準を遵守し、かつ散布方法等にも十分留意して行う（平成18年4月5日付け技術情報第1号参照）。

表1 麦類赤かび病の多発条件出現日 (熊本市)

月日	2006年 (H18)	2005年 (H17)	2004年 (H16)	2003年 (H15)	1998年 (H10)
3/26					
3/27					
3/28					
3/29					
3/30					
3/31					

4/1					
4/2					
4/3					
4/4					■
4/5					■
4/6					
4/7			■	■	
4/8			■	■	
4/9					
4/10		■			

4/11					■
4/12	■				■
4/13	-				
4/14	-		■	■	
4/15	-		■	■	
4/16	-				
4/17	-	■			
4/18	-				
4/19	-				
4/20	-				

4/21	-				
4/22	-				
4/23	-				
4/24	-				
4/25	-				
4/26	-				
4/27	-				
4/28	-				
4/29	-				
4/30	-				

多発条件()の出現数	0	3	6	4	8
調査時期	発 病 率 (%)				
4月中下旬	-	0.0	0.2	0.0	7.3
5月上旬	-	1.1	1.6	9.4	71.7
5月中下旬	-	1.3	8.0	24.7	84.0

(小麦出穂期)

(開花期) [農研センター内圃場において]

【発生予察事業調査実施基準より】

- : 子のう殻形成の好適条件 (日平均気温13 以上、当日または前日に降雨があった)
- : 子のう胞子飛散の好適条件 (日最高気温15 以上、日最低気温10 以上、当日または前日に降雨があった)
- : 多発条件 (日平均気温が18 以上、当日または前日に降雨があった)